

伊達市学校施設等長寿命化計画



令和 3 年 3 月

伊達市教育委員会

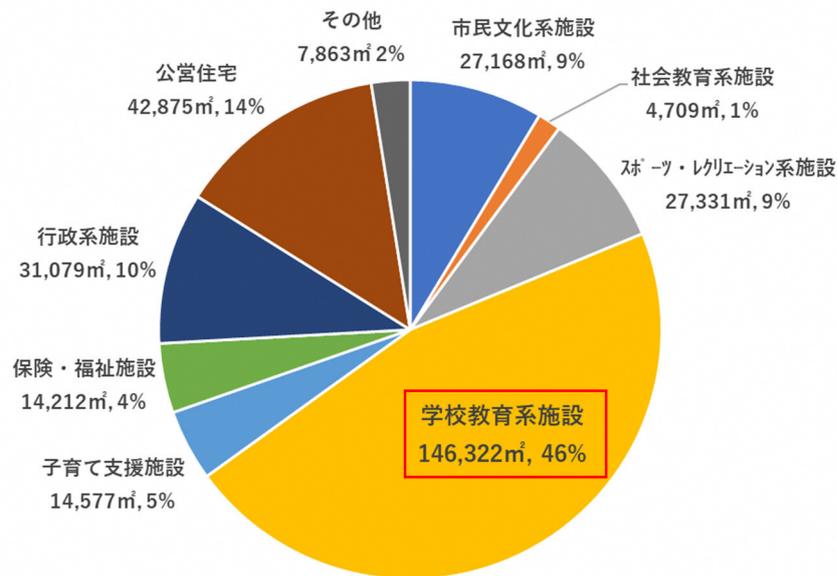
目次

1. 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等	1
1.1 背景	1
1.2 目的	1
1.3 計画の位置づけ	2
1.4 計画期間	2
1.5 対象施設	3
2. 学校施設等の目指すべき姿	4
3. 学校施設等の実態	5
3.1 学校施設等の運営状況・活用状況等の実態	5
3.2 学校施設等の老朽化状況	13
4. 学校施設等整備の基本的な方針等	15
4.1 適正配置の方針	15
4.2 長寿命化の方針	16
5. 基本的な方針等を踏まえた具体的取組と施設整備の水準	17
5.1 適正配置の推進にかかる具体的取組	17
5.2 長寿命化にかかる施設整備の水準	18
6. 長寿命化の実施計画	23
6.1 施設・設備の状況管理方法及び評価	23
6.2 総合劣化度による優先順位付け	27
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	30

1. 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1.1 背景

本市の所有する学校施設等は、公共施設全体の延床面積の約 46.3%を占めており、その多くは平成 2 年以前に整備されたものです。このため、建設されてから 30 年を超えた学校施設等が約 6 割となっており、これまで部分的な改修は行っているものの、全体的に老朽化・機能低下が進行している状況です。よって、今後、老朽化した学校施設等の改修や建替えなどに多額の費用が集中的に必要となることから、これらの計画的な維持管理が課題となっています。



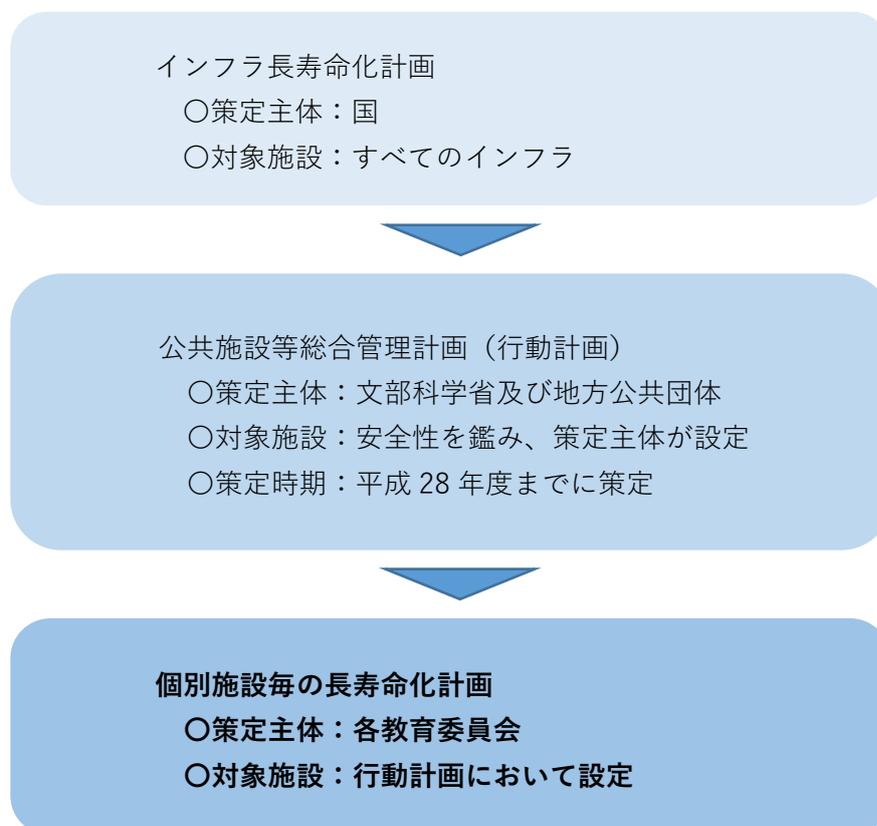
図：施設類型別延床面積（出典：H31 年度 伊達市公共施設配置適正化計画）

1.2 目的

伊達市内の学校施設等（小学校 13 校、中学校 5 校、小中一貫校 1 校、幼稚園 6 園、認定こども園 2 園及び給食センター 2 施設）の長寿命化によるコストの縮減及び平準化を図るとともに、学校施設等に求められる機能・性能を確保するため、学校施設等全体の長寿命化計画を策定し、全体の投資的経費の平準化を図ることを目的としています。

1.3 計画の位置づけ

本計画は下図のとおり、公共施設等総合管理計画（行動計画）の下位計画として位置づけられている計画で、本市の所有する学校施設等の今後のあり方を示す計画となります。



1.4 計画期間

計画期間は 2021 年度（令和 3 年度）から 2030 年度（令和 12 年度）までの 10 年間とします。ただし、計画期間内においても必要に応じて適宜見直すものとします。また、本計画では 2021 年度（令和 3 年度）から 2060 年度（令和 42 年度）の 40 年間で更新費用を算出し、投資的経費の平準化を図ります。

1.5 対象施設

本計画は、小学校 13 校、中学校 5 校、小中一貫校 1 校、幼稚園 6 園、認定こども園 2 園及び給食センター 2 施設の計 29 施設を対象とします。(附属する体育館、武道館等を含めるが、小規模な倉庫、器具庫等を含めない。)

■施設一覧表

番号	種別	施設名	住所
1	小学校	伊達小学校	960-0467伊達市館ノ内20番地
2		伊達東小学校	960-0501伊達市伏黒字土井ノ内42番地
3		梁川小学校	960-0781伊達市梁川町字北本町21番地1
4		堰本小学校	960-0767伊達市梁川町新田字南荒野33番地
5		栗野小学校	960-0711伊達市梁川町栗野字沼頭28番地
6		大田小学校	960-0634伊達市保原町大泉字前原内111番地
7		保原小学校	960-0629伊達市保原町字弥生町15番地
8		上保原小学校	960-0684伊達市保原町上保原字無苦代内11番地
9		柱沢小学校	960-0681伊達市保原町所沢字東畑100番地
10		掛田小学校	960-0801伊達市靈山町掛田字高ノ上2番地
11		小国小学校	960-0808伊達市靈山町下小国字中島26番地1
12		大石小学校	960-0804伊達市靈山町大石字三ノ輪27番地
13		石田小学校	960-0807伊達市靈山町石田字的場6番地
14	中学校	伊達中学校	960-0502伊達市箱崎字沖110番地
15		梁川中学校	960-0733伊達市梁川町字菖蒲沢141番地6
16		松陽中学校	960-0675伊達市保原町大柳字向山1番地
17		桃陵中学校	960-0644伊達市保原町字豊田1番地1
18	靈山中学校	960-0801伊達市靈山町掛田字下川原30番地	
19	小中一貫	月館学園	960-0902伊達市月館町月館字久保田1番地
20	幼稚園	伏黒幼稚園	960-0501伊達市伏黒字土井ノ内42番地
21		堰本幼稚園	960-0767伊達市梁川町新田字南荒野33番地
22		栗野幼稚園	960-0711伊達市梁川町栗野字沼頭21番地
23		保原幼稚園	960-0611伊達市保原町字城ノ内67番地
24		柱沢幼稚園	960-0681伊達市保原町所沢字東畑100番地
25	掛田幼稚園	960-0801伊達市靈山町掛田字高ノ上2番地	
26	認定 こども園	梁川認定こども園	960-0787伊達市梁川町字山城館7番地1
27		月館認定こども園	960-0902伊達市月館町月館字関ノ下8番地2
28	給食C	伊達学校給食センター	960-0502伊達市箱崎字沖110番地
29		伊達市中央給食センター	960-0692伊達市保原町字舟橋17番地1

※大石小学校は令和3年3月31日に閉校します。

※掛田幼稚園は令和3年3月31日に閉園します。

2. 学校施設等の目指すべき姿

上位関連計画である伊達市教育大綱には、基本的方向性として以下の5つを掲げています。この目標を達成できる環境づくりを目指すため、次の3つを本市における「学校施設等の目指すべき姿」として設定し、本市の社会資本の重要な柱として位置付けます。

伊達市教育大綱

- ・ 子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実
- ・ 「生きる力」を育む学校教育の充実
- ・ 学ぶ心を育む生涯学習の推進
- ・ スポーツ・レクリエーションによる健幸づくりの推進
- ・ 歴史・文化遺産の継承と心豊かな文化の創造

1) 安全・安心な教育環境の確保【地域に安心を与える学校施設】

学校施設は幼児・児童・生徒の安全確保及び非常災害時における市民の避難所としての役割も果たす施設であるため、安全・安心な施設環境を確保することが必要です。学校施設の耐震化や吊り天井の落下防止対策等はもちろんのこと、経年劣化による外壁・屋上防水の改修及びトイレ改修等大規模改修や空調設備の更新、プールの建て替えや給排水管・電気等の各種設備の安全対策が必要な状況にあります。地震・洪水に強い施設を整備し、防災機能を備えた安全・安心な施設を計画します。

2) 学習・生活環境の質的向上【多様な学習形態に対応できる学校施設】

学校施設は、子供たちの学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を十分に展開でき、学習能率の向上に資する施設環境を整えると同時に、「生きる力」を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性・防災性・防犯性や衛生的な環境を備えたものとする必要があります。さらに、近年の学校施設は、教育内容の充実や多様化への対応が求められており、特別支援教育、情報教育の環境整備やバリアフリー等、時代に即した機能的な教育環境を確保することが必要です。

3) 地域に開かれた学校施設とするための環境の整備【地域の健幸づくりに資する学校施設】

学校施設は、地域住民の生涯学習活動の拠点としての役割を果たし、地域生涯学習の推進及び教育コミュニティづくりの中心となる施設でもあるため、より地域に開かれた学校施設とするための環境の整備が必要です。地域の実情やニーズなどを踏まえて、生涯学習や学校教育を支援する取組を核としながら学校施設、家庭、地域が一体となった教育コミュニティづくりが進むように、それらの取組による学校施設の利用にかかる動線の確保、備品の整備・管理等、より地域に開かれた学校施設とするための環境を整えることが必要です。

3. 学校施設等の実態

3.1 学校施設等の運営状況・活用状況等の実態

1) 対象施設一覧

名 称	住 所	児童生徒数 (人)		学級数 (学級)		
		通常 学級 在籍 者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
小学校	1 伊達小学校	伊達市館ノ内20番地	435	18	14	3
	2 伊達東小学校	伊達市伏黒字土井ノ内42番地	83	4	6	1
	3 梁川小学校	伊達市梁川町字北本町21番地1	476	34	14	5
	4 堰本小学校	伊達市梁川町新田字南荒野33番地	76	4	6	1
	5 栗野小学校	伊達市梁川町栗野字沼頭28番地	51	1	4	1
	6 大田小学校	伊達市保原町大泉字前原内111番地	78	5	6	1
	7 保原小学校	伊達市保原町字弥生町15番地	592	51	19	7
	8 上保原小学校	伊達市保原町上保原字無苦代内11番地	243	36	9	5
	9 柱沢小学校	伊達市保原町所沢字東畑100番地	41	4	4	1
	10 掛田小学校	伊達市霊山町掛田字高ノ上2番地	141	7	6	1
	11 小国小学校	伊達市霊山町下小国字中島26番地1	21	1	3	1
	12 大石小学校	伊達市霊山町大石字三ノ輪27番地	12	0	2	0
	13 石田小学校	伊達市霊山町石田字的場6番地	17	0	3	0
	14 月館学園小学校	伊達市月館町月館字久保田1番地	82	3	6	1
小学校 計		2348	168	102	28	
中学校	1 伊達中学校	伊達市箱崎字沖110番地	285	7	9	1
	2 梁川中学校	伊達市梁川町字菖蒲沢141番地6	321	17	9	3
	3 松陽中学校	伊達市保原町大柳字向山1番地	151	8	6	1
	4 桃陵中学校	伊達市保原町字豊田1番地1	379	16	11	2
	5 霊山中学校	伊達市霊山町掛田字下川原30番地	135	1	6	1
	6 月館学園中学校	伊達市月館町月館字久保田1番地	63	0	3	0
中学校 計		1334	49	44	8	
小・中学校 合計		3682	217	146	36	

令和2年度施設台帳より

2) 児童生徒数及び学級数の変化

■児童生徒数

(単位：人)

	これまでの推移								将来推計					
	2006	2008	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	平 18	平 20	平 22	平 24	平 26	平 28	平 30	令 2	令 3	令 4	令 5	令 6	令 7	令 8
小学校 児童数	4,055	3,961	3,756	3,321	2,984	2,709	2,584	2,516	2,496	2,492	2,440	2,381	2,296	2,147
中学校 生徒数	2,232	2,093	1,995	1,896	1,845	1,716	1,506	1,383	1,368	1,302	1,269	1,240	1,226	1,247
合計	6,287	6,054	5,751	5,217	4,829	4,425	4,090	3,899	3,864	3,794	3,709	3,621	3,522	3,394

児童・生徒数推移データより

■学級数

(単位：学級)

	これまでの推移													
	2006	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	平 18	平 19	平 20	平 21	平 22	平 24	平 25	平 26	平 27	平 28	平 29	平 30	令 1	令 2
小学校	195	194	189	186	170	159	153	146	149	148	140	139	137	130
中学校	76	76	75	73	62	61	63	62	61	61	61	60	57	52
合計	271	270	264	259	232	220	216	208	210	209	201	199	194	182

※2011(平23)はデータなし

児童・生徒数推移データより

4) 施設関連経費の推移

■ 施設関連経費の推移

(単位：円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	5年平均
施設整備費	368,174,000	1,421,892,040	304,309,400	573,689,520	238,060,288	581,225,050
その他施設整備費	124,998,708	76,692,841	36,543,664	54,739,337	35,198,038	65,634,518
維持修繕費	19,137,118	20,029,663	17,946,772	16,103,901	17,399,082	18,123,307
光熱水費・委託費	176,150,860	176,964,749	173,178,998	158,304,749	172,985,629	171,516,997
施設関連経費合計	688,460,686	1,695,579,293	531,978,834	802,837,507	463,643,037	836,499,871

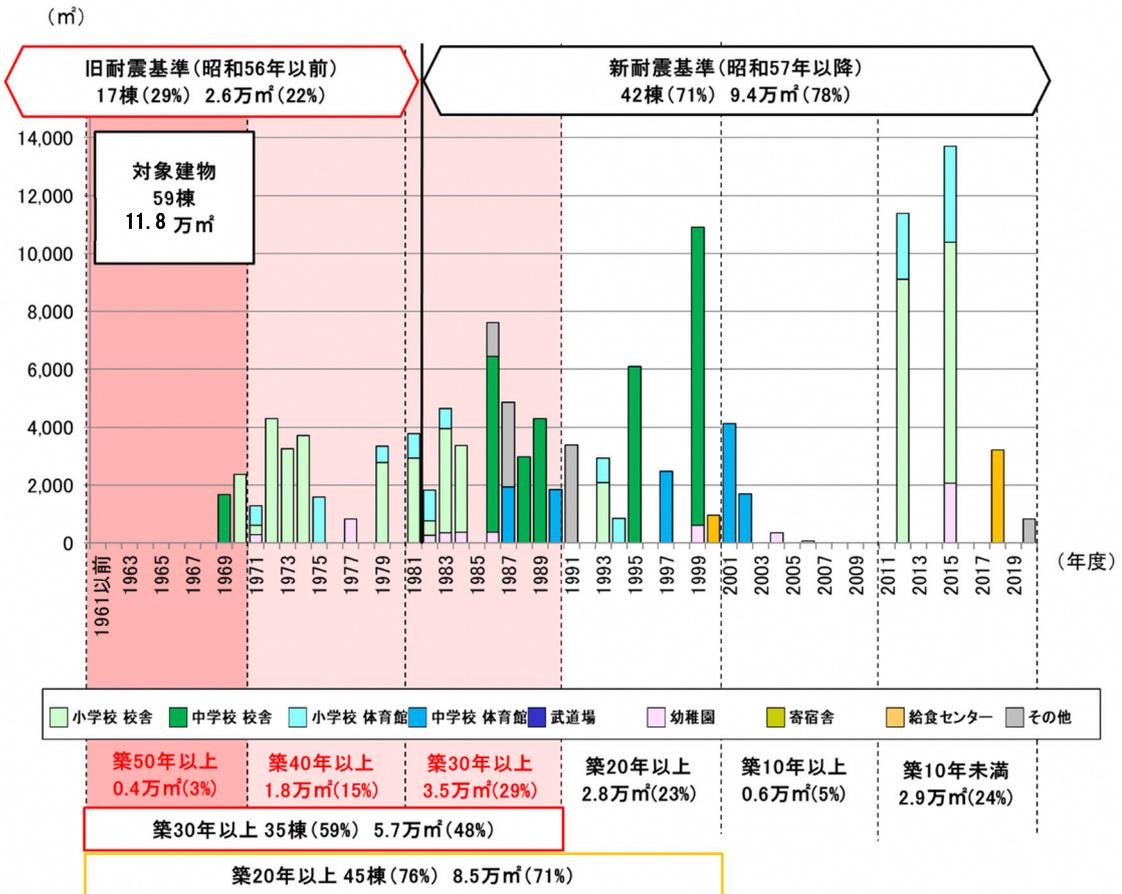
業務委託費・工事費・修繕費集計データより

施設関連経費の項目	内訳
施設整備費	大規模改造工事（老朽）、耐震化工事
その他施設整備費	屋上防水工事、屋根塗装工事、高架水槽取替工事、放送設備更新工事、照明器具更新工事、トイレ改修工事、受水槽改修工事、外壁タイル改修工事等
維持修繕費	外構以外の軽微な修繕
光熱水費、委託費	光熱水費として、電気、ガス、水道、重油、灯油、電話（インターネット回線使用料を含む。）、委託費として、各種設備の保守点検委託等

5) 学校施設等の保有状況

本市が所有する学校施設等は、全 59 棟で総延床面積は約 11.8 万㎡となっています。延床面積からみると、現時点における築 30 年以上の建築物は全体の 48%で 10 年後には 71%になる見込みのため、今後の維持管理の手法について早急に検討していく必要があります。

築年別整備状況

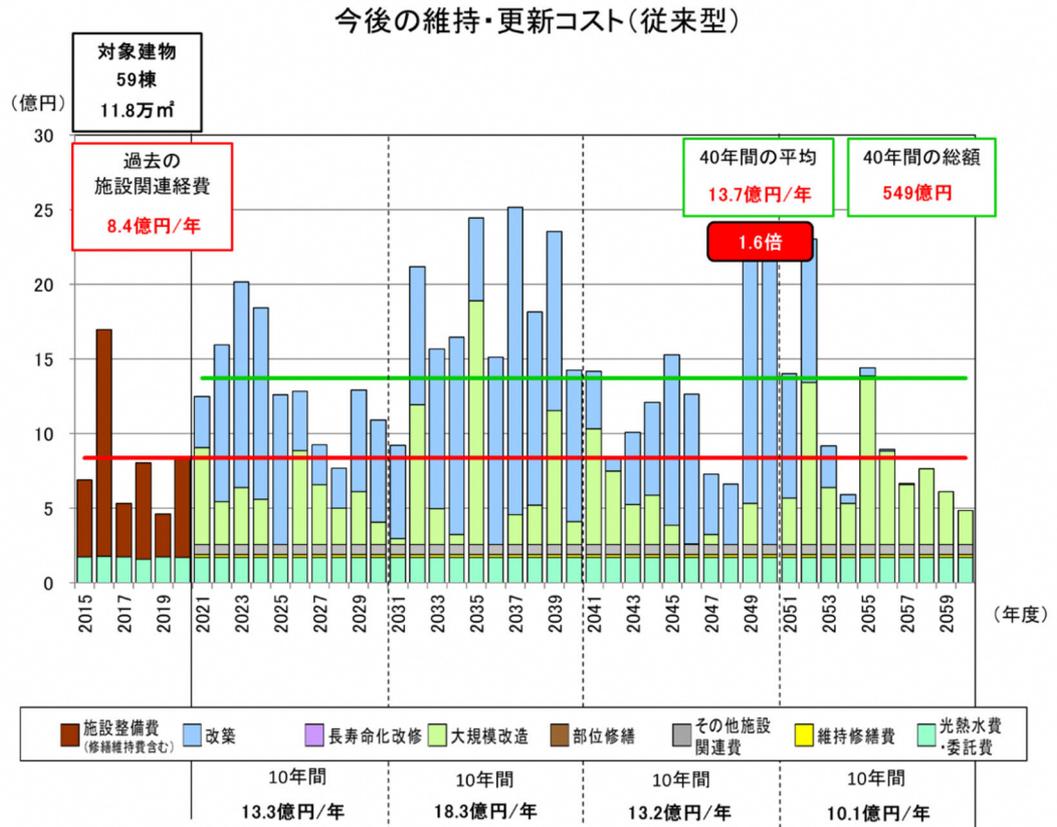


※小数点以下第2位で四捨五入しているため
内訳の計と合計が一致しない場合がある

6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

学校施設等の長寿命化を行わずに従来どおりの改築周期を約 50 年として維持管理を続けた場合、今後 40 年間にかかる維持・更新コストの総額は約 549 億円（13.7 億円／年）になると想定され、その額は過去 5 年間に発生した施設関連経費の 8.4 億円／年に対して約 1.6 倍になります。

特に、2031 年度～2040 年度の 10 年間では、建て替えが集中し、過去 5 年間に発生した施設関連経費の 8.4 億円／年に対して約 2.2 倍の 18.3 億円／年になると想定されるため、従来の建て替え中心の整備を継続することは不可能と言え、対応策を検討する必要があります。



※小数点以下第 2 位で四捨五入

コスト試算条件(従来型)

基準年度 2020 年
 試算期間: 基準年の翌年度から40年間

改築

更新周期 50 年 工事期間 2 年
 実施年数より古い建物の改修 10 年以内に実施

改築単価 330,000 円/㎡ 引用: 総務省の公共施設等更新費用試算ソフト仕様書の更新（建替え）及び大規模改修の単価

大規模改造 大規模改造単価 82,500 円/㎡ (改修単価の 25%に自動設定)

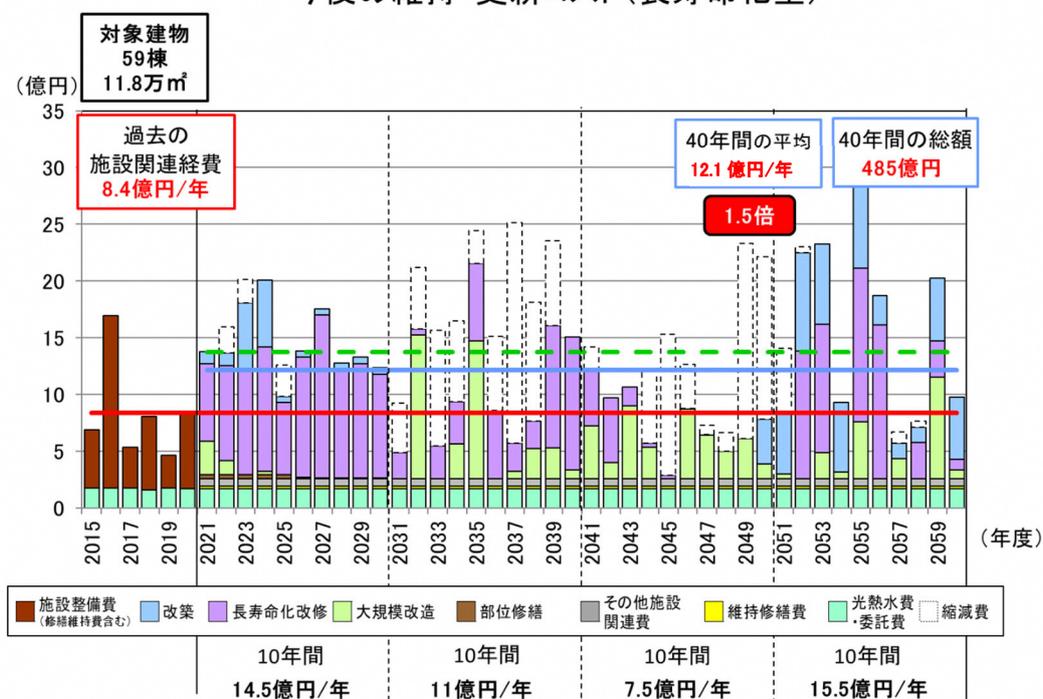
実施年数 20 年周期 工事期間 1 年

7) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

学校施設等について、建て替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

長寿命化により 80 年に建物を長寿命化した場合、今後 40 年間にかかる維持・更新コストの総額は約 485 億円（12.1 億円／年）になると想定され、従来の建て替え中心の場合の総額約 549 億円（13.7 億円／年）と比較して、約 64 億円（1.6 億円／年）約 11.7%の縮減となります。ただし、その額は過去 5 年間に発生した施設関連経費の 8.4 億円／年に対して未だ約 1.5 倍のコストがかかるため、長寿命化だけではなく、施設保有のあり方や維持・更新コストの削減について、見直しや適正化に向けた総合的な取組を推進する必要があります。

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



※小数点以下第2位で四捨五入

コスト試算条件(長寿命化型)

基準年度 <input type="text" value="2020"/>		<グラフの年表示> <input type="text" value="西暦"/>	
試算期間: 基準年の翌年度から40年間			
改築		※1 試算上の区分(改築、長寿命)ごとに更新周期を設定する。 試算上の区分が未記入の場合は「改築」と同条件で算出する。	
更新周期	<改築、要調査> <input type="text" value="50"/> 年	<長寿命> ※1 <input type="text" value="80"/> 年	工事期間 <input type="text" value="2"/> 年 実施年数より古い建物の改築を <input type="text" value="10"/> 年以内に実施
長寿命化改修		<長寿命>	
改修周期	<input type="text" value="40"/> 年	工事期間 <input type="text" value="2"/> 年 実施年数より古い建物の改修を <input type="text" value="10"/> 年以内に実施	
大規模改造			
改修周期	<input type="text" value="20"/> 年周期 (ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)		
部位修繕 ※2		※2 躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出されない。	
D評価:	今後 <input type="text" value="5"/> 年以内に部位修繕を実施		
C評価:	今後 <input type="text" value="10"/> 年以内に部位修繕を実施		
(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)			
A評価:	今後 <input type="text" value="10"/> 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く		

3.2 学校施設等の老朽化状況

現地調査等に基づき、学校施設等の老朽化状況を以下に整理しました。なお、劣化状況評価及び健全度の算定については、「解説書」に基づき行っています。劣化状況を評価した結果、建物外部では、屋根・屋上で約 23.7%（14 棟）が C 評価、上保原小学校（校舎 4）、柱沢小学校（校舎）、染川中学校（校舎）、月舘学園小学校・中学校（屋内運動場）、堰本幼稚園（園舎）、では D 評価となっており、外壁で約 27.1%（16 棟）が C 評価、伊達小学校（校舎 1）、霊山中学校（校舎 1）では D 評価となっています。

また、建物内部の内部仕上、電気設備、機械設備では、建物の経過年数に起因して C 評価となっているものが一定数みられ、特に機械設備が D 評価となっている 6 施設は、早急な対応が求められます。

伊達市学校施設等長寿命化計画

建物情報一覧表

■:築50年以上 □:築30年以上 基準 2020

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟 番号	固定 資産 台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		劣化状況評価				備考			
						学校種 別	建物用 途				西曆	和曆		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上 の区分	屋根・ 屋上	外壁	内部仕 上		電気設 備	機械設 備	健全度 (100点 満点)
1	347	伊達小学校	校舎1	4-1,2,3	200000 0167,20	小学校	校舎	RC	3	3,701	1974	S49	46	旧	済	-	H17	17.7	長寿命	B	D	C	C	D	31	
2	347	伊達小学校	屋内運動場	6-1	200000 0169	小学校	体育館	S	1	879	1975	S50	45	旧	済	済	H21	12.9	長寿命	A	B	A	C	D	74	H24耐震補強で基準を満たす
3	348	伊達東小学校	校舎	1-1,2	200000 0178	小学校	校舎	RC	3	2,367	1970	S45	50	旧	済	済	H20	18	長寿命	C	C	B	C	B	57	H22耐震補強
4	348	伊達東小学校	屋内運動場	3-1	200000 0179	小学校	体育館	S	1	660	1971	S46	49	旧	済	済	H21	18	長寿命	B	B	A	A	A	91	H24耐震補強
5	354	梁川小学校	校舎	16-1, 17,19,20	200000 1068,20	小学校	校舎	RC	3	8,319	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
6	354	梁川小学校	屋内運動場	16-2	200000 1071	小学校	体育館	RC	2	1,588	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
7	356	堰本小学校	校舎	13	200000 0184	小学校	校舎	RC	3	3,003	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	C	48	
8	356	堰本小学校	屋内運動場	15	200000 1074	小学校	体育館	S	1	879	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
9	355	粟野小学校	校舎	10-1,2, 13	200000 0156,20	小学校	校舎	RC	2	2,935	1981	S56	39	旧	済	-	R1	17.5	長寿命	C	C	C	C	C	40	
10	355	粟野小学校	屋内運動場2	15	200000 1073	小学校	体育館	S	1	851	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
11	362	大田小学校	校舎	1-1,2	200000 0282	小学校	校舎	RC	3	2,478	1972	S47	48	旧	済	済	H9	14.9	長寿命	C	C	C	C	D	36	H22耐震補強
12	362	大田小学校	屋内運動場	2	200000 0283	小学校	体育館	RC	1	846	1981	S56	39	旧	済	-	H21	27.5	長寿命	C	C	B	B	B	62	
13	361	保原小学校	校舎1	13	200000 0323	小学校	校舎	RC	3	7,614	2012	H24	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
14	361	保原小学校	屋内運動場	14-1	200000 0323	小学校	体育館	RC	4	2,270	2012	H24	8	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
15	361	保原小学校	校舎2	14-2	200000 0323	小学校	校舎	RC	1	1,424	2012	H24	8	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
16	363	上保原小学校	校舎2	1-1,2	200000 0247,20	小学校	校舎	RC	3	2,779	1979	S54	41	旧	済	済	H27	15.2	長寿命	A	A	A	A	A	100	H29耐震補強
17	363	上保原小学校	校舎1	1-3	200000 0250	小学校	校舎	RC	2	323	1971	S46	49	旧	済	済	H27	12.5	要調査	A	A	A	A	A	100	H29耐震補強で基準を満たす
18	363	上保原小学校	校舎3	1-4	200000 0251	小学校	校舎	RC	2	1,922	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	H29改修
19	363	上保原小学校	校舎4	2	200000 0441	小学校	校舎	RC	1	299	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	C	C	C	37	
20	363	上保原小学校	屋内運動場	4	200000 0249	小学校	体育館	RC	1	1,068	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	A	80	H24改修
21	364	柱沢小学校	校舎	11	200000 0288	小学校	校舎	RC	3	1,770	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	B	59	
22	364	柱沢小学校	屋内運動場	14	200000 0280	小学校	体育館	RC	1	842	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
23	366	掛田小学校	校舎1	1-1,2	200000 0191	小学校	校舎	RC	2	1,925	1973	S48	47	旧	済	済	H28	11.9	要調査	A	B	A	A	A	93	圧縮強度(U)=17.6,(D)=11.9 耐震補強
24	366	掛田小学校	校舎2	2	200000 0192	小学校	校舎	RC	2	1,323	1973	S48	47	旧	済	済	H28	11	要調査	A	A	A	A	A	100	R2耐震補強
25	366	掛田小学校	屋内運動場	8	200000 0193	小学校	体育館	S	1	708	1975	S50	45	旧	済	済	H28	18	長寿命	A	A	A	A	A	100	R2耐震補強
26	877	小国小学校	校舎	1	200000 0233	小学校	校舎	RC	2	1,816	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
27	877	小国小学校	屋内運動場	3	200000 0234	小学校	体育館	S	1	707	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
28	367	大石小学校	屋内運動場	5	200000 0274	小学校	体育館	S	1	560	1979	S54	41	旧	済	済	H10	18	長寿命	C	A	B	B	B	79	H24耐震補強
29	367	大石小学校	校舎	8-1,2	200000 0273	小学校	校舎	RC	3	1,807	1972	S47	48	旧	済	-	H10	18	長寿命	C	C	C	C	D	36	材料調査なし H12一部補修
30	370	石田小学校	校舎	14	200000 0258	小学校	校舎	RC	2	2,090	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
31	370	石田小学校	屋内運動場・柔 剣道場	15	200000 0260	小学校	体育館	S	1	835	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
32	3679	伊達中学校	校舎1	1-3	200000 0324	中学校	校舎	RC	3	5,464	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
33	3679	伊達中学校	校舎2	1-4	200000 0324	中学校	校舎	RC	2	626	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
34	3679	伊達中学校	屋内運動場・柔 剣道場	3-4,5	200000 0325	中学校	体育館	RC	2	2,461	1997	H9	23	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
35	3681	梁川中学校	校舎	18-1,2,3,4,7	200000 0377	中学校	校舎	RC	3	10,306	1999	H11	21	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70	
36	3681	梁川中学校	屋内運動場・柔 剣道場	18-5,6	200000 0378	中学校	体育館	RC	2	4,111	2001	H13	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98	
37	3685	松陽中学校	校舎	38,39	200000 0349	中学校	校舎	RC	3	4,293	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
38	3685	松陽中学校	屋内運動場・柔 剣道場	40-1,2,3	200000 0350	中学校	体育館	RC	1	1,844	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
39	3905	桃陵中学校	校舎	1,2	200000 0359	中学校	校舎	RC	3	6,070	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
40	3905	桃陵中学校	屋内運動場・柔 剣道場	3-1,2	200000 0360	中学校	体育館	RC	1	1,932	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
41	3688	霊山中学校	校舎1	6	200000 0401	中学校	校舎	RC	3	1,663	1989	S44	51	旧	済	-	H30	9.17	要調査	A	D	C	C	D	33	圧縮強度 1F=14.82,2F=9.17,3F=11.73
42	3688	霊山中学校	校舎2	17-1,2	200000 0400	中学校	校舎	RC	3	2,979	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
43	3688	霊山中学校	屋内運動場		200000 0399	中学校	体育館	RC	1	1,689	2002	H14	18	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	施設台帳なし(体育館・地域 交流センター)W連一部RC
44	0928	月館学園小学校・ 中学校	校舎1	22,23	200000 0341	義務教育 学校	校舎	RC	3	2,933	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	R2改修
45	0928	月館学園小学校・ 中学校	校舎2	32,33	200000 0008	義務教育 学校	校舎	RC	3	503	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	A	A	A	88	R2増築・支所の一部用途変 更・改修(延面積は学校用途)
46	0928	月館学園小学校・ 中学校	校舎3	29,30,31	200000 0342	義務教育 学校	校舎	S	1	940	2020	H32	0	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
47	0928	月館学園小学校・ 中学校	屋内運動場	20,21	200000 0419	義務教育 学校	体育館	S	1	1,178	1988	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	B	59	
48	6617	伏黒幼稚園	園舎1	1-1	200000 0428	幼稚園	園舎	RC	1	290	1971	S46	49	旧	済	-	H18	18	長寿命	A	C	C	C	C	45	
49	6617	伏黒幼稚園	園舎2	4-1,2	200000 0322	幼稚園	園舎	RC	1	359	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
50	6626	堰本幼稚園	園舎	4	200000 0419	幼稚園	園舎	RC	1	364	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	C	55	
51	6627	栗野幼稚園	園舎	4	200000 0410	幼稚園	園舎	RC	1	356	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
52	6629	保原幼稚園	園舎	1	200000 0430	幼稚園	園舎	S	1	818	1977	S52	43	旧	済	-	H18	18	長寿命	C	B	C	C	D	46	材料調査なし(アスベスト含有の ため)
53	6630	柱沢幼稚園	園舎1	1	200000 0422	幼稚園	園舎	S	1	269	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
54	6630	柱沢幼稚園	園舎2	2	200000 0423	幼稚園	園舎	W	1	65	2006	H18	14	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
55	7132	掛田幼稚園	園舎	1	200000 0420	幼稚園	園舎	W	1	344	2004	H16	16	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
56	6625	梁川認定こども園	園舎	1	200000 1078	幼稚園	園舎	S	2	2,065	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
57	6637	月館認定こども園	園舎	1-1,2	200000 0666,20	幼稚園	園舎	RC	1	605	1999	H11	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
58	K131	伊達学校 給食センター	給食センター	1-1	200000 0435	給食セン ター	給食セン ター	S	2	958	2000	H12	20	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
59	K161	伊達市中央 給食センター	給食センター	1-1	200000 1133	給食セン ター	給食セン ター	S	2	3,211	2018	H30	2	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	

4. 学校施設等整備の基本的な方針等

安全で良好な教育環境を維持するためには、少子高齢化等の人口動態に応じた施設整備や、地域の実情に沿ったコミュニティツールとしての学校施設づくりを目指し、計画的整備を推進していく必要があります。また、老朽化した施設・設備が一斉に更新時期を迎えることを踏まえたうえで、本市の財政状況等も鑑み、経済的な事業計画を立案・実行していくことも必要です。施設の改修や老朽化対策にあたっては、学校の統廃合も視野に入れて計画します。なお、計画の策定にあたっては、「伊達市公共施設等総合管理計画」の基本的な考え方に則り、施設の複合化・多機能化等による効率的な整備や既存施設の用途転用、空き施設の有効活用など、施設総量の抑制に向けた再編整備の取組についても検討します。

4.1 適正配置の方針

本市の総人口は 1985（昭和 60）年度以降減少し続けており、2040（令和 22）年度には約 4.5 万人まで減少が見込まれています。少子化傾向に起因して児童・生徒数は減少する方向にあることから、児童・生徒の良好な教育環境の確保や、教育活動の充実を図ることを目的とした「伊達市立小中学校適正規模・適正配置基本計画」に基づき、各地区で丁寧に合意形成を図りながら、基幹校への統合を推進します。学校統合に伴い閉校する施設については、施設の老朽化状況を踏まえたうえで、地域活力の維持・向上や財政的な負担など総合的な観点から、今後のあり方を検討します。また、施設に余剰スペースがある場合は、児童クラブなどの活用可能性を検討します。

【適正配置の基本方針】

① 適正規模の基本的な考え方

小学校 … 1 学年 1 学級以上
中学校 … 1 学年 2 学級以上

1 学年が 1 学級に満たない小規模校の状況（令和 2 年度）

小学校 14 校中 5 校 内完全複式 3 校

② 適正配置の基本的な考え方

小学校 … 5 学級以下になる場合は統合を進める。
中学校 … 各地域に 1 校は中学校を置くことから、現時点では統合は進めない。

4.2 長寿命化の方針

1) 校舎・体育館の長寿命化改修

従前の増改築手法では、中長期的な維持・更新コストが大幅に膨れ上がってしまうことが懸念され、学校施設にかかるトータルコストを削減する必要があります。従前は築後50～60年程度で改築を行ってきましたが、今後本市では築40年頃に躯体の補強や大規模な改造を行う長寿命化改修を実施することで、築80年程度まで延命化する手法に転換していきます。

2) 予防保全の強化

従前は、施設に不具合が生じた後に改修等を行う「事後保全型」の管理を行っていました。施設をできる限り長く使用するためには、点検結果や各所の耐用年数等から判断したうえで、不具合を未然に防ぐことが必要です。今後は、劣化や損傷が軽微である早期の段階から予防的な修繕等を実施することで、機能の維持・回復を図る「予防保全型」の維持管理の方法へ転換します。「予防保全型」の維持管理の中には、一般的な目安として示されている耐用年数に合わせて定期的に修繕・更新を行う「予防保全(時間計画型)」と、耐用年数を考慮したうえで、点検等により各部位の状態を把握しながら、故障等が発生する前に適時に修繕・更新を行う「予防保全(状態監視型)」があります。修繕・更新すべき部位によって2つの方法を使い分けながら、より効果的な予防保全を推進していきます。改修方針の転換を図ることにより、突発的な事故の発生する可能性を減少させ、安全・安心な教育環境の確保ができるとともに、応急対応となる消費的改修費用の発生を防ぐことが可能となることから、中長期的なトータルコストとして事業費の圧縮が可能となります。

保全項目	標準更新年
外壁	20
屋根・屋上防水	20
受変電設備	30
昇降機設備	40
空調設備	15
給排水・衛生	30
自動火災報知機	25

法に基づく点検	
建築基準法12条に基づく定期点検	建築物の敷地及び構造を3年以内ごと、建築物設備や昇降機については1年以内ごとに調査・点検を実施
消防用設備等の点検	総合点検を1年以内ごと、機器点検を6ヶ月ごとに実施
自主的な点検	
体育館舞台吊物機構安全点検	点検に専門技術を要する舞台吊物機構について、5年以内ごとに点検業者による安全点検を実施
外壁、庇の安全点検	毎年1回、目視による異常箇所等の点検を学校で実施し、学校設置者に報告

5. 基本的な方針等を踏まえた具体的取組と施設整備の水準

5.1 適正配置の推進にかかる具体的取組

学校配置の適正化に向けては、教育環境や教育内容の充実、地域コミュニティの活性化、街づくりの観点等から、保護者や地域住民の理解と協力が不可欠であり、下記の進め方を基本として課題整理や協議を行い、合意形成を図りながら進めます。

■基本的な協議の進め方（例）

第1段階：統合に向けた合意形成

- ・ 学校長への説明
- ・ 当該校の学校協議会、PTA、地域への説明
- ・ 統合協議会等において統合に向けた課題等の整理（随時）
- ・ 保護者説明会の開催（随時）



※当該校の保護者、地域が統合について承認

統合に向けた合意形成

第2段階：統合の最終合意

- ・ 合同の統合協議会等での協議（随時）
統合時期、今後の進め方の課題整理



※統合時期、今後の進め方について承認

統合の最終合意

第3段階：統合に向けた具体的準備等

- ・ 合同の統合協議会等での協議（随時）
教育活動の充実のための方策
校名、校歌、校章、通学路の安全対策等



※校名、校歌、校章、通学路の安全対策等の
具体的な準備が完了

統 合

5.2 長寿命化にかかる施設整備の水準

1) 対象の選定方法

LCC（ライフサイクルコスト）の縮減や財政支出の平準化を図り、今ある施設をできるだけ長く使うことが長寿命化改修の主目的であることを踏まえ、以下の1.～4.の選定条件を満たした学校施設等に対し、長寿命化改修を実施します。学校校舎については、適正配置の状況も加味して検討していきます。

構造体の老朽化が著しく進行している施設においては、長寿命化改修を実施したとしても、建物の延命化を図ることが難しく、安全・安心・良好な教育環境の提供が困難であることから、従前どおりの改築周期である50～60年程度で改築（事後保全型）を実施します。

【選定条件】

1. 鉄筋コンクリート造である。
2. 昭和48年以降に建設され、築40年以上経過している。
3. 昭和47年以前の古い建物と剛接合されておらず、建物の配置等に問題がない。
※昭和46年に、柱のせん断破壊防止のため、柱の帯筋間隔（鉄筋コンクリート柱の主筋に所定の間隔で巻き付けた水平方向の鉄筋）を従来の2分の1とするように改正建築基準法施行令が施行された。
4. 耐力度調査の結果により、築80年頃までの躯体の延命化が可能と判定される。

2) 整備水準

園舎・校舎を良好な状態で目標使用年数まで使用するため、構造体の長寿命化を図るとともに、学校については、①耐久性向上 ②機能性向上 ③多様な学習内容・学習形態への対応 の3つの視点から、幼稚園については、①耐久性向上 ②機能性向上 の2つの視点から建物の基本的性能を向上させます。

部位		建設当初 (S48~59) の標準仕様	長寿命化改修工事の整備水準	
①耐久性を高めるもの				
外部	鉄筋コンクリート躯体	※構造体の劣化状況調査	躯体の状況に応じた適切な補修 (中性化対策、鉄筋腐食対策)	
	外壁	モルタル下地外装薄塗材E (リシン吹付)	耐久性を高める材料	
	屋上	アスファルト防水	かぶせ工法によるシート防水	
	給排水設備	給水	ライニング鋼管	硬質塩化ビニル管による配管の更新
②現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの				
内部	各室	内装材	一般材料	空気汚染物質を発生させない材料で更新
		換気設備	自然換気	機械換気
	教室	間仕切り壁	スチール枠、木製扉	鋼製スクールパーテーション等
		床出入口	床組+床仕上げ	床改修による教室出入口の段差解消 または、適切なスロープ設置
		出入口建具	木製扉	鋼製スクールパーテーションまたは鋼製建具へ更新
	建具	外部窓	アルミサッシ	危険個所の落下防止対策
		ガラス	普通ガラス	ガラス飛散安全対策
	階段室	防火戸	防火戸 (建設当初の基準法)	防火戸の改修
	トイレ	床	ウエット式 (タイル仕上げ)	ドライ式 (抗菌シート)、段差解消
			和式便器	洋式便器
衛生器具		一般型小便器	節水型小便器	
		水栓	自動水栓	
照明設備	未設置	自動照明		
設備	電気設備	照明設備	蛍光灯	LED照明
	給排水設備	給水	受水槽方式	直結増圧給水方式
	空調設備	冷房	未設置	普通教室、特別教室等にヒートポンプ式エアコン設置
暖房		ストーブ等		
③多様な学習内容・学習形態への対応				
学習環境の多様化		対応なし	ICT環境への整備	

3) 改修イメージ

構造体の改善策として、コンクリートの中性化対策及び鉄筋の腐食化対策を実施し、校舎については教室や廊下の床改修、内外装の改修、設備機器の更新、トイレ改修等を同時に実施します。その他、上記改修内容に合わせて、必要な法令改修等についても実施します。なお、幼稚園園舎については、内外装や設備機器の状態を勘案しながら改修等を実施します。

■改修イメージ（写真は「学校施設の長寿命化改修に関する事例集」より抜粋）

外部



- ・躯体の補修
- ・外壁・外部鉄部塗装
- ・屋上防水改修
- ・給排水・消火設備改修

廊下・階段



- ・床仕上げ悪所部分改修
- ・壁・天井の塗装替え
- ・外部建具の改修
- ・照明器具のLED化

教室



- ・床仕上げの改修
- ・壁・天井の塗装替え
- ・間仕切り壁、出入口の更新
- ・外部建具の改修
- ・照明器具のLED化

トイレ



- ・床のドライ化
- ・洋式便器、節水型小便器
- ・自動照明
- ・自動手洗い
- ・バリアフリー化

4) 事業スケジュール

基本的には1年目に構造体の健全性調査、改修内容の検討を行い、2年目に実施設計をします。学校については3年目・4年目の2ヵ年で工事を実施し、幼稚園については3年目で単年度工事を実施します。また、既存の校舎を使用しながら施設運営を行うことを原則とします。そのため、夏休み等の長期休業期間での実施を中心とした工期設定や、学校教育活動を考慮した工事区分けを行うなど、学校運営や幼児・児童・生徒の安全に支障とならないよう最大限配慮したうえで工事を実施します。

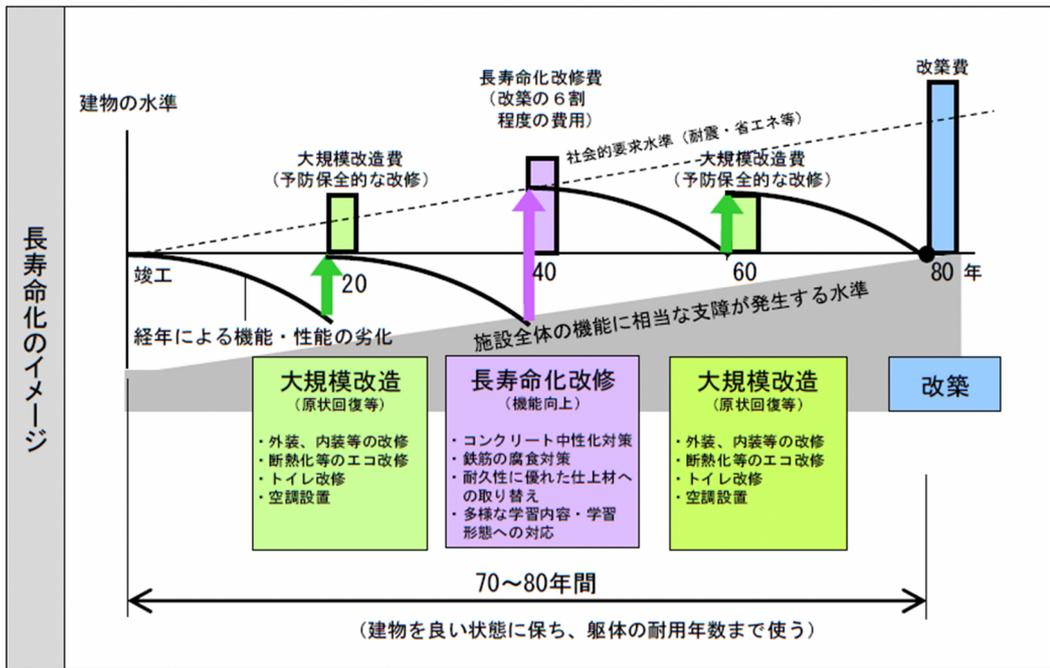
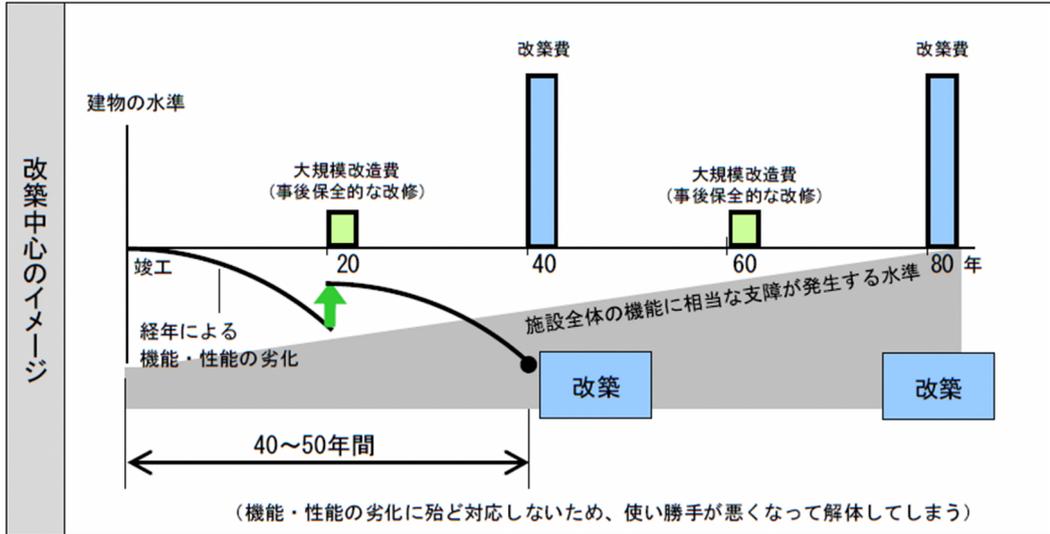
学校			
1年目	2年目	3年目	4年目
躯体の健全性調査	実施設計	工事（Ⅰ期）	工事（Ⅱ期）

幼稚園		
1年目	2年目	3年目
躯体の健全性調査	実施設計	工事

5) ライフサイクル

長寿命化改修を実施する建物について、従前手法によるライフサイクル及び長寿命化によるライフサイクルの比較を以下に示します。長寿命化型では、従前型よりも状態を良好に保ちながら、LCC（ライフサイクルコスト）を圧縮することが可能です。

■改築中心から長寿命化への転換イメージ



6. 長寿命化の実施計画

施設の長寿命化にあたっては、適切な点検に基づき、各所の劣化具合や破損箇所等を把握したうえで最適な修繕・更新を速やかに実行することが必要となります。そのため、以下の方法により、建物や設備の劣化状況を適切に管理・評価し、エビデンスに基づいた優先順位付けに取り組んでいきます。

6.1 施設・設備の状況管理方法及び評価

1) 施設カルテによる情報管理

各技術担当者が法定点検等により把握した施設・設備の状態に基づいて、各学校の棟・各所ごとの状態等が記載された「伊達市学校施設等長寿命化個別計画カルテ」を作成し、各学校施設に関する情報を総合的に管理します。

【各様式の概要】

様式① 施設基本情報

学校名称、学校種別、建物用途等、各種情報を集約し、施設の概要を把握します。

様式② 建物情報

建物の主構造、延べ床面積、築年数、耐用年数到来時期、給水方式、受電方式、空調方式等の建物概要を確認します。また、長寿命化判定として、調査年度、圧縮強度、試算上の区分を確認し、耐震安全性として、耐震基準、耐震診断、耐震改修を確認します。

様式③ 工事履歴

新築、増築、改修工事、修繕、その他部品交換等のすべての工事等について実施年度、内容等の情報を把握し、将来の修繕等に活用します。

様式④ 点検履歴

法定点検、保守点検等の実施状況を確認します。

様式⑤ 建物部位の老朽化データ

屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備の5項目の劣化状況評価をレーダーチャートに示し、部位ごとの特記事項をまとめます。

学校等施設 保全・長寿命化 計画シート (長寿命化個別計画カルテ)					点検年度	令和○年度
1. 施設基本情報						
学校名	〇〇小学校					
建物名	校舎1					
棟番号	4-1.2.3					
固定資産台帳番号	2000000167.2000000168					
学校種別	小学校					
建物用途	校舎					
備考	外観写真貼り付け					
2. 建物情報						
建物の主構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	3701㎡	令和○年度	点検年度	令和○年度
建築年度	1974年度	築年数	46年			
調査年度	平成17年度	階数	3階建			
圧縮強度 (N/㎡)	17.7	前用年数到来	2030年			
試算上の区分	長寿命	バリアフリー	○・△・×			
耐震基準	旧	目標耐用年数	60年			
耐震診断	済	図面有無	紙＋一部CAD			
耐震改修	-	便所種類	合併浄化槽 (185人槽)			
給水方式	水道直結方式φ40	EV	なし			
受電方式	高圧受電方式	ガス	LPGガス (熱湯熱源、ガスコンロ)			
空調方式	ファンコイルユニット (天井埋込)	点検委託等	消防設備、受変電設備、合併浄化槽			
位置図	位置図貼り付け					
3. 主な工事履歴						
年度	改修内容	年度	点検内容			
1974年	新築工事	1974年	〇〇点検			
1995年	外壁その他改修工事					
2005年	屋根改修工事					
2010年	空調改修工事					
4. 点検履歴						
カルテNo.	1	学校調査番号	1			
5. 建物部位別の老朽化データ						
屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		
A	C	A	B	B		
レーダーチャート	<p>レーダーチャートとは、クモの巣グラフと言われ、グラフの面積が大きいほど評価が高い。</p>					
健全度				80 / 100点満点		
部位ごとの情事事項 (コメント)						
建物周囲	各所で経年劣化による劣化が確認された					
屋根・屋上	腐食による雨どいの破損・堅通については堆積物による排水不良が発生					
建物躯体	構造体については、劣化箇所は確認できず比較的健康な状態である					
建物外部	各所で経年劣化による劣化が確認された					
建物内部	各所で経年劣化による軽微な不具合が発生しているが、機能面では問題ない					
設備類	中央制御方式の空調設備に更新時期が近づいており、個別制御方式への更新を検討					

2) 劣化状況評価による健全度評価

「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（平成29年3月 文部科学省）に基づき、屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の状態を評価したうえで健全度点数を算出することで、エビデンスに基づいた計画的整備を推進していきます。以下に評価ロジックを示します。

【ステップ① 部位の評価】

屋根・屋上、外壁については、目視調査によるA～Dの4段階評価を行います。内部仕上げ、電気設備、機械設備については、劣化年数（①原則補修・修繕からの経年数 ②補修・修繕履歴がない場合は築年数）により、A～Cの3段階評価を行い、さらに、現地調査や点検の指摘事項等から、各技術担当者が「経年数に関わらず劣化が著しい」と判断した場合は、D評価として再評価します。

目視による評価（屋根・屋上、外壁）

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上に問題があり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し、施設運営に支障を与えている）

良好



劣化

経過年数による評価（内部仕上げ、電気設備、機械設備）

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

良好



劣化

【ステップ② グループの評価】

内部補修と電気設備のグループは4部位から構成されているため、各部位の評価に対して、次のように評点を与え、全体の平均値を基にグループの評価を決定します。

ステップ①の評価に与える点数

評価	評点
A	100
B	75
C	40
D	10



4部位の平均点から再評価

評点の範囲	評価
89~100	A
59~88	B
28~58	C
0~25	D

【ステップ③ 健全度点数の算出】

ステップ②で算出したグループの評価に再度（A=100、B=75、C=40、D=10）評点を与え、グループごとに定めたウェイトを乗じ、グループの合計を60^{※1}で除して健全度点数を算出します。

$$\text{健全度点数} = \sum (\text{ステップ②で算出した評価の評点} \times \text{ウェイト}) \div 60$$

グループ	部位	ステップ①	ステップ②	ウェイト	健全度
1.屋根・屋上	屋上防水	A	A	5.1	100
2.外壁	外壁	A	A	17.2	
3.内部補修	トイレ	A	A	22.4	
	床	A			
	建具	A			
	空調設備	A			
4.電気設備	分電盤	A	A	8	
	照明設備	A			
	電気配線	A			
	消防設備	A			
5.機械設備	配管設備	A	A	7.3	

※1：ウェイトの合計=60

6.2 総合劣化度による優先順位付け

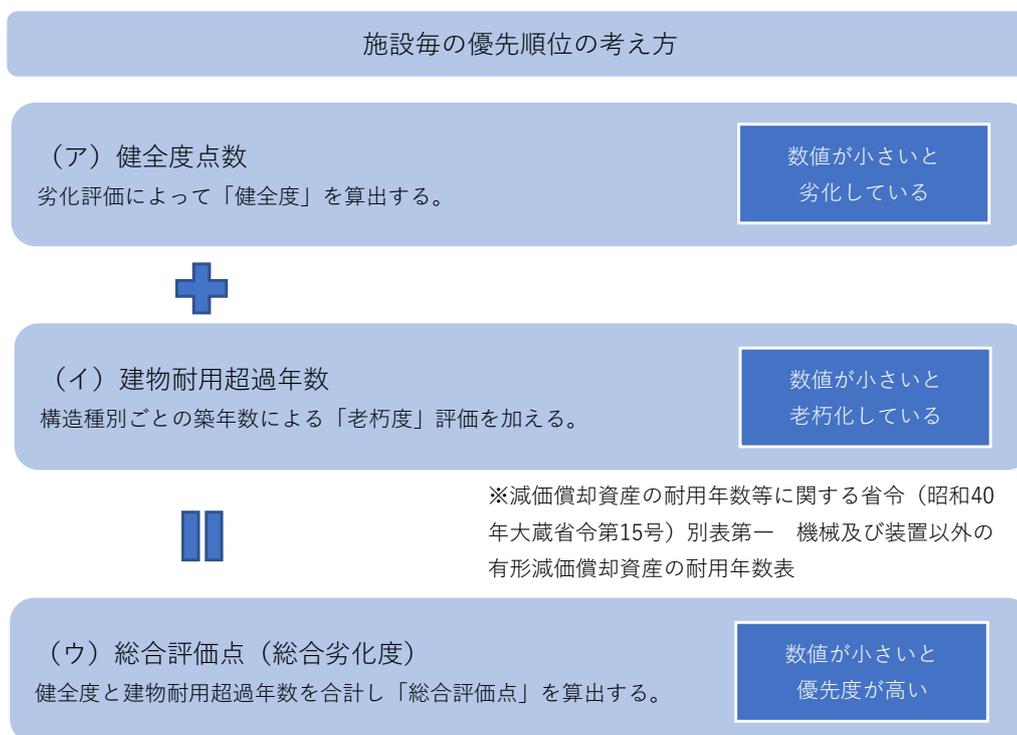
本市では、喫緊の老朽化対策に投じることができる財源は限られることとなりますが、今後、修繕や改修時期が集中する可能性があります。早急な対応が求められる施設については、近年中の対応を想定しつつ、財政的かつ施行体制上の困難な状況も勘案し、保全優先度に従い施設整備コストの平準化を図りつつ計画を実施するものとします。また、本計画は10年単位の見直しを基本としており、今後の財政状況や社会情勢の変化に応じて、適宜、計画を変更する可能性があることにも留意する必要があります。学校施設等の老朽化対策にかかる基本的な考え方と優先順位付けについて、以下に整理します。

1) 老朽化対策にかかる基本的な考え方

- ① 長寿命化改修は、耐力度調査の結果を踏まえ、構造躯体の健全性に問題がなく、改修に伴う延命化が可能な施設とします。
- ② 長寿命化改修による延命化が期待できない施設については、従前どおり築後50～60年程度で改築します。
- ③ 学校施設については、避難所機能としての役割を担うことを勘案し、防火設備等について3年計画で機能改善を図ります。
- ④ 部位改修（便所改修、空調機更新、屋上防水・外壁改修等）については、施設カルテを基に健全度評価に応じた優先順位付けを行い、改修をしていきます。

2) 総合劣化度による優先順位付け

学校施設等の保全優先度については、建物の5つの部位・設備の劣化評価である（ア）健全度点数に、（イ）建物耐用超過年数（構造種別毎の耐用年数と築年数との差を算出）を加えた、劣化状況の（ウ）総合評価点（総合劣化度）を算出し、点数の低いものを優先度の高い施設として整理します。



減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）

別表第一 機械及び装置以外の有形減価償却資産の耐用年数表より

種類	構造又は用途	細目	耐用年数
建物	鉄骨鉄筋コンクリート造又は鉄筋コンクリート造のもの	住宅用、寄宿舎用、宿泊所用、学校用又は体育館用のもの	47年
	金属造のもの（骨格材の肉厚が四ミリメートルを超えるものに限る。）	店舗用、住宅用、寄宿舎用、宿泊所用、学校用又は体育館用のもの	34年
	木造又は合成樹脂造のもの	店舗用、住宅用、寄宿舎用、宿泊所用、学校用又は体育館用のもの	22年

伊達市学校施設等長寿命化計画

総合劣化度一覧表

■:築50年以上 □:築30年以上

2020

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

建物基本情報											構造躯体の健全性			劣化状況評価					総合劣化度		
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	構造	耐用年数	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	建物耐用年数	総合評価点 建築年度(西暦)+健全度点数
								西暦	和暦		基準	診断	補強								
41	3688	霊山中学校	校舎1	RC	47	3	1,663	1969	S44	51	旧	済	-	A	D	C	C	D	33	-4	29
1	347	伊達小学校	校舎1	RC	47	3	3,701	1974	S49	46	旧	済	-	B	D	C	C	D	31	1	32
11	362	大田小学校	校舎	RC	47	3	2,478	1972	S47	48	旧	済	済	C	C	C	C	D	36	-1	35
29	367	大石小学校	校舎	RC	47	3	1,807	1972	S47	48	旧	済	-	C	C	C	C	D	36	-1	35
52	6629	保原幼稚園	園舎	S	34	1	818	1977	S52	43	旧	済	-	C	B	C	C	D	46	-9	37
48	6617	伏黒幼稚園	園舎1	RC	47	1	290	1971	S46	49	旧	済	-	A	C	C	C	C	45	-2	43
19	363	上保原小学校	校舎4	RC	47	1	299	1982	S57	38	新	-	-	D	C	C	C	C	37	9	46
9	355	栗野小学校	校舎	RC	47	2	2,935	1981	S56	39	旧	済	-	C	C	C	C	C	40	8	48
3	348	伊達東小学校	校舎	RC	47	3	2,367	1970	S45	50	旧	済	済	C	C	B	C	B	57	-3	54
7	356	堰本小学校	校舎	RC	47	3	3,003	1984	S59	36	新	-	-	B	C	C	B	C	48	11	59
47	0928-月籠学園小学校・中学校	屋内運動場	S	34	1	1,178	1986	S61	34	新	-	-	D	C	B	B	B	59	0	59	
2	347	伊達小学校	屋内運動場	S	34	1	879	1975	S50	45	旧	済	済	A	B	A	C	D	74	-11	63
50	6626	堰本幼稚園	園舎	RC	47	1	364	1984	S59	36	新	-	-	D	C	B	B	C	55	11	66
21	364	柱沢小学校	校舎	RC	47	3	1,770	1983	S58	37	新	-	-	D	C	B	B	B	59	10	69
12	362	大田小学校	屋内運動場	RC	47	1	846	1981	S56	39	旧	済	-	C	C	B	B	B	62	8	70
31	370	石田小学校	屋内運動場・柔剣道場	S	34	1	835	1994	H6	26	新	-	-	C	C	B	B	B	62	8	70
53	6630	柱沢幼稚園	園舎1	S	34	1	269	1982	S57	38	新	-	-	B	B	B	B	B	75	-4	71
27	877	小国小学校	屋内運動場	S	34	1	707	1983	S58	37	新	-	-	B	B	B	B	B	75	-3	72
28	367	大石小学校	屋内運動場	S	34	1	560	1979	S54	41	旧	済	済	C	A	B	B	B	79	-7	72
39	3905	桃陵中学校	校舎	RC	47	3	6,070	1986	S61	34	新	-	-	C	C	B	B	B	62	13	75
51	6627	栗野幼稚園	園舎	RC	47	1	356	1983	S58	37	新	-	-	B	C	B	B	B	65	10	75
4	348	伊達東小学校	屋内運動場	S	34	1	660	1971	S46	49	旧	済	済	B	B	A	A	A	91	-15	76
37	3685	松陽中学校	校舎	RC	47	3	4,293	1989	H元	31	新	-	-	C	C	B	B	B	62	16	78
30	370	石田小学校	校舎	RC	47	2	2,090	1993	H5	27	新	-	-	C	C	B	B	B	62	20	82
26	877	小国小学校	校舎	RC	47	2	1,816	1983	S58	37	新	-	-	B	B	B	B	B	75	10	85
49	6617	伏黒幼稚園	園舎2	RC	47	1	359	1986	S61	34	新	-	-	B	B	B	B	B	75	13	88
25	366	掛田小学校	屋内運動場	S	34	1	708	1975	S50	45	旧	済	済	A	A	A	A	A	100	-11	89
38	3685	松陽中学校	屋内運動場・柔剣道場	RC	47	1	1,844	1990	H2	30	新	-	-	C	B	B	B	B	72	17	89
40	3905	桃陵中学校	屋内運動場・柔剣道場	RC	47	1	1,932	1987	S62	33	新	-	-	B	B	B	B	B	75	14	89
20	363	上保原小学校	屋内運動場	RC	47	1	1,068	1982	S57	38	新	-	-	A	B	B	B	A	80	9	89
58	K131	伊達学校給食センター	給食センター	S	34	2	958	2000	H12	20	新	-	-	A	B	B	B	B	77	14	91
22	364	柱沢小学校	屋内運動場	RC	47	1	842	1993	H5	27	新	-	-	C	B	B	B	B	72	20	92
42	3688	霊山中学校	校舎2	RC	47	3	2,979	1988	S63	32	新	-	-	A	B	B	B	B	77	15	92
23	366	掛田小学校	校舎1	RC	47	2	1,925	1973	S48	47	旧	済	済	A	B	A	A	A	93	0	93
35	3681	梁川中学校	校舎	RC	47	3	10,306	1999	H11	21	新	-	-	D	B	B	B	B	70	26	96
32	3679	伊達中学校	校舎1	RC	47	3	5,464	1995	H7	25	新	-	-	B	B	B	B	B	75	22	97
17	363	上保原小学校	校舎1	RC	47	2	323	1971	S46	49	旧	済	済	A	A	A	A	A	100	-2	98
33	3679	伊達中学校	校舎2	RC	47	2	626	1995	H7	25	新	-	-	A	B	B	B	B	77	22	99
24	366	掛田小学校	校舎2	RC	47	2	1,323	1973	S48	47	旧	済	済	A	A	A	A	A	100	0	100
34	3679	伊達中学校	屋内運動場・柔剣道場	RC	47	2	2,461	1997	H9	23	新	-	-	A	B	B	B	B	77	24	101
45	0928-月籠学園小学校・中学校	校舎2	RC	47	3	503	1991	H3	29	新	-	-	C	B	A	A	A	88	18	106	
16	363	上保原小学校	校舎2	RC	47	3	2,779	1979	S54	41	旧	済	済	A	A	A	A	A	100	6	106
55	7132	掛田幼稚園	園舎	W	22	1	344	2004	H16	16	新	-	-	A	A	A	A	A	100	6	106
54	6630	柱沢幼稚園	園舎2	W	22	1	65	2006	H18	14	新	-	-	A	A	A	A	A	100	8	108
18	363	上保原小学校	校舎3	RC	47	2	192	1982	S57	38	新	-	-	A	A	A	A	A	100	9	109
57	6637	月籠認定こども園	園舎	RC	47	1	605	1999	H11	21	新	-	-	A	A	B	B	B	84	26	110
44	0928-月籠学園小学校・中学校	校舎1	RC	47	3	2,933	1987	S62	33	新	-	-	A	A	A	A	A	100	14	114	
8	356	堰本小学校	屋内運動場	S	34	1	879	2015	H27	5	新	-	-	A	B	A	A	A	93	29	122
43	3688	霊山中学校	屋内運動場	RC	47	1	1,689	2002	H14	18	新	-	-	A	B	A	A	A	93	29	122
36	3681	梁川中学校	屋内運動場・柔剣道場	RC	47	2	4,111	2001	H13	19	新	-	-	B	A	A	A	A	98	28	126
10	355	栗野小学校	屋内運動場2	S	34	1	851	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100	29	129
56	6625	梁川認定こども園	園舎	S	34	2	2,065	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100	29	129
14	361	保原小学校	屋内運動場	RC	47	4	2,270	2012	H24	8	新	-	-	B	B	A	A	A	91	39	130
15	361	保原小学校	校舎2	RC	47	1	1,494	2012	H24	8	新	-	-	B	B	A	A	A	91	39	130
13	361	保原小学校	校舎1	RC	47	3	7,614	2012	H24	8	新	-	-	A	B	A	A	A	93	39	132
59	K161	伊達市中央給食センター	給食センター	S	34	2	3,211	2018	H30	2	新	-	-	A	A	A	A	A	100	32	132
46	0928-月籠学園小学校・中学校	校舎3	S	34	1	940	2020	H32	0	新	-	-	A	A	A	A	A	100	34	134	
5	354	梁川小学校	校舎	RC	47	3	8,319	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100	42	142
6	354	梁川小学校	屋内運動場	RC	47	2	1,588	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100	42	142

7. 長寿命化計画の継続的運用方針

1) 長寿命化の推進

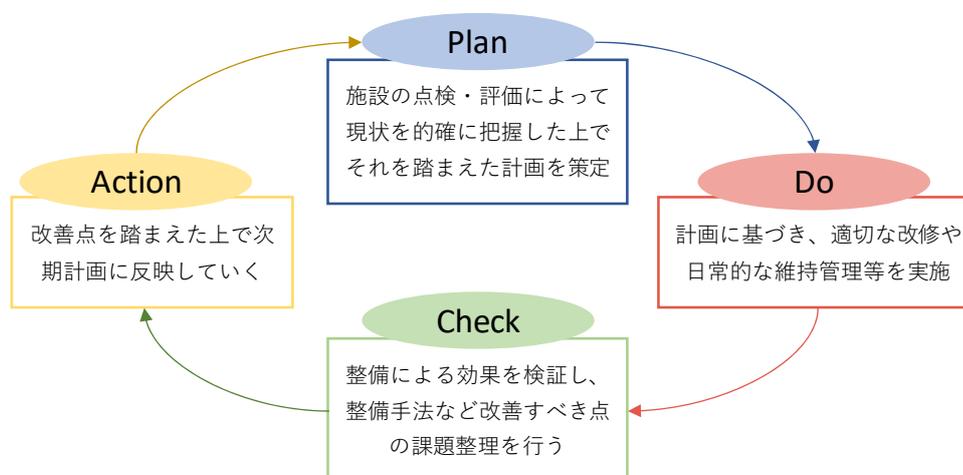
今後 40 年における従来型と長寿命化型の経費比較にもあるように、中長期的な視野でコスト管理を行っていくためには、従前の校舎改築主体を長寿命化へ転換させていく必要があり、長寿命化にかかる計画を進めることによって、中長期的なコストの圧縮が可能となります。一方課題として、直近の財政制約ラインを大幅に超過する財源を必要とすること、また、喫緊で改修を必要とする施設があることから、集中的に財源を老朽化対策へ投資することができない状況があります。基本的な老朽化対策の考え方として、長寿命化を推進していくこととなりますが、差し迫った課題に対する対策を実行しつつ、限られた財源の中で老朽化対策を進めます。

2) 長寿命化にかかる課題

長寿命化改修工事は、躯体補強による延命化を基本とする工事となりますが、本市の長寿命化計画では、計画の立案後、1年目に躯体の耐力度調査の実施、2年目に実施設計、3年目以降に長寿命化改修工事を実施することとしています。延命化が困難と判断された校舎等においては、従前の築後 50～60 年程度で改築を実施することになり、計画におけるコスト圧縮は困難となります。今後躯体調査をさらに進めることによって、各校の実行計画に反映し、効率的な保全を実施できるよう検討します。

3) 長寿命化計画の推進・検討体制

市内学校施設等の保全業務を効果的に行うために、従前の事後保全手法から、予防保全手法へと転換を図り、計画的な整備を進めます。また、災害時の避難施設としての役割や、地域コミュニティの場等、近年の学校施設として求められる機能の変化に対し、将来にわたり安全で持続的にその機能を維持・提供することができるよう、下記の PDCA を確実に実施します。



4) 各担当部署との連携

学校施設等の所管局である、教育委員会部局が中心となり、組織横断的な調整機能を果たす部局及び財政的及び行政改革的観点からの意見調整に対応する部局と緊密に連携することによって全庁的な推進体制を構築します。

5) 学校施設の適正化

学校施設の適正化にあたっては、学校が災害時の避難施設や地域コミュニティの拠点として位置づけられている側面を踏まえ、市内施設の適正化の在り方については、保護者や地域住民との十分な議論を行ったうえで検討する必要があります。

しかしながら、適切な施設の保全・整備を実施する上で、施設保有数の適正化は重要であると考えます。昨今の児童・生徒数の減少傾向を踏まえ、施設数を適正化していくことは、保全・整備に必要となる費用を縮減することに直結するものであり、児童・生徒数に適した施設数とすることは重要です。